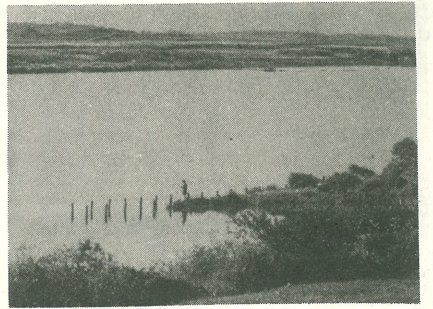




広報

とね

茨城県北相馬郡利根町役場  
昭和51年3月20日発行 No 144



# 建設的な意見続出 第五回町政懇談会

つづつて保存いたしましょう

毎年実施している町政懇談会も、すでに五回目を数え、今回は、去る一月二十八日午後一時半から、約八十人の関係者が参加して行われました。これは、新年度の予算を編成するにあたって、町内各層から町政に対するきんごのなご意見や要望等をお聞きして、町政に反映させるといのが、そのねらいで、町長のあいさつのち、関口議長のはぎれのいい司会によって、スムーズに懇談が進められました。

## 要望等は五十件余

各層からの「声」を次のとおり記録しましたが、要望事項等の中には、防犯灯の設置等、かなり重複したものがあり、それらは省略しましたのでご了承ください。

なお、今回は、発言のあつたすべてのかたがたに文書をもつて回答(二月五日)しましたので付記します。

(区長会)

① 山土採取の関係でこわれた

県道の補修をお願いする。場所は、押戸―奥山間の約二百m位である。  
② 防犯灯及びカーブミラーの補修・新設をお願いする。  
③ お墓へ通じる道路の舗装と



▲1月28日 中央公民館で行われた  
第5回町政懇談会

加納新田後の排水路の浚渫並びに惣新田前の用水路を三面側溝にして、道路を拡張していただきたい。  
④ 町有地の沼と民家との境界をはつきりさせていただきたい。(押付本田)  
⑤ 防犯灯や消防小屋等の電灯代は、現在、区で管理しているのがあり、これを町で管理していただきたい。

⑥ 高津屋―関新間の排水路にふたがないので、対策を講じていただきたい。深いので危険である。  
⑦ 深井戸を掘る場合、地元の区長や関係者には、事前に連絡していただきたい。事後承諾では困る。

⑧ U字溝の水が水田に流れ込まないようにしていただきたい。U字溝の清掃を年二回位町でやっていただきたい。U字溝にふたをしていただきたい。

⑨ 道路拡張などの関係で舗装の残っているところを早急にやっていただきたい。

⑩ 上水道の建設は非常にうれしい。そこで、貯水槽の設置をお願いする。団地内の交通規制と土砂採掘あとの安全対策をお願いする。(羽根野台)

⑪ 消防団の日頃の活躍にお礼を申し上げると同時に、今後とも続けてくださるようお願いする。また、団地内にダンプが進入するので規制していただきたい。犯罪防止について、いっそうの取り締まりをお願いする。(白鷺の街)

⑫ 白鷺の街の下を流れる下水に雑廃物を流さないよう注

(2) 頁へつづく

- ⑬ 意していただきたい。
- ⑭ 羽根野台では、昨年に続いて夜警を実施しているの報告する。
- ⑮ 水道やガス、電話ケーブル等工事をしたあとの道路の補修を完全していただきたい。
- ⑯ 産業道路と農道の交差部分を完全にしていただきたい
- ⑰ 布川台は、最初二、三戸だ



▲静かなたたずまいの中の羽根野台団地。草刈条例の制定や防火水槽の建設が叫ばれています。

つたが、現在は、七戸にふえた。そこで町有地の一部を集会所の敷地として残しておいていただきたい。同時に外路灯を五ヶ所ほどお願いする。

⑰ 布川台の一部にゴミの山ができていて衛生上よくないので、善処していただきたい。

⑱ 文間小学校周辺の舗装をお

- ⑲ 菊地良典さんへ大房集会所間のU字柵欄をお願いする
- ⑳ 羽根野から根柄へ通じる狭い道路は、国有地だと聞いているが、町で通れるようにしていただきたい。
- ㉑ 産業道路第一期工区の舗装をお願いする。
- ㉒ 早尾の旧道から産業道路へ入る橋を作っていたいただきたい。天神様の手前の坂のところへミラーを設置していただきたい。

(農業委員会)

- ㉓ 都市近郊の農業のあり方について、十分検討して振興策を打ちだしていただきたい。
- ㉔ 宅造地域の枯草の刈り取りと焼却をお願いする。

(教育委員会)

- ㉕ 文小小学校の建設促進をお願いする。
- ㉖ 布川小学校の生徒の増加に伴う校舎の増築をお願いする。

(P・T・A)

- ㉗ 十年後を目ざして、町内に県立高校の誘致をお願いする。

(土地改良区)

- ㉘ 基盤整備について、十アール当たり三五〜四〇万円と負担が大きく、現在の農家

の経済では無理なので、国なり県なりの助成が得られるようお願いする。

(交通指導隊)

- ㉙ 開発に伴う交通量の増大に比例して、交通事故の増加も考えられるが、幼児のうちから交通安全の徹底をお願いする。
- ㉚ 布川保育園の園児のために栄橋のバス停のところに待



▲このような恐い事故は二度と起こさないよう交通法規は絶対を守りましょう。1月29日布川で撮影。

- ㉛ 避所を作っていたいただきたい
- ㉜ 横須賀の十字路に信号機の設置をお願いする。羽中の十字路にも(ただし、ここは押しボタン式でよいと思う)
- ㉝ 町内の人家のこんでいるところの交通規制をお願いする。

(公民館)

(3頁へつづく)

- ③③ 中央公民館の調理室の拡張をお願いする。また、布川の公会堂にも調理室を作っていたideきたい。
- ③④ 婦人会の補助金の増額をお願いする。
- (常総共済組合)
- ③⑤ 例年どおりの補助金の助成をお願いする。
- (商工会)
- ③⑥ 人の集まるような施設、たとえば大きな病院とか工場などの誘致をお願いする。
- (老人クラブ)
- ③⑦ 老人クラブは、補助金をい



▲幼児にはじまって、小・中学生にいたるまで徹底した交通教育が望まれています。

- ③⑧ 納税貯蓄組合もやがて創立二十周年の記念すべき日を迎えるが、町民になにか記念品をお願いする。
- (郷土誌編さん委員会)
- ③⑨ 五十二年に出版の見通しであるが、その時は予算をお願いする。
- (消防関係)
- ④① 靖国神社参拝や慰霊祭のときの助成をお願いする。
- (町政モニター)
- ④② 団地の人々にも町の生活になじんでいただかなければならないが、皆さんの中に

- ④③ 夜間の急患等で困るので、総合病院の誘致をお願いする。
- ④④ ゴミの問題であるが、将来は住民の負担のかからないようをお願いする。
- ④⑤ 通勤、通学者の立場から成田線の複線化または運行回

もご意見があればどしどしだしていただきたい。

(白鷺の街モニター)

- ④⑥ 布川地区は、宅造により耕地がかなりつぶされたが、農家として安心して農業ができるような政策を広報紙等に掲載して心に安らぎが得られるようお願いする。

(議会)

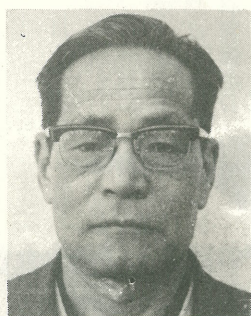
- ④⑦ 皆さまのご要望が実現できるように最大限の努力をした

(文書による町政モニターの要望)

- ④⑧ 羽根野台団地に防火水槽を作っていたideきたい。また第一工区には歩道がないので善処をお願いする。同時

選管委員長に

寺田良雄氏



昭和五十一年初の選挙管理委員会は、去る一月十日招集され、昨年十二月三十一日付

に交通規制もお願いする。

- ④⑨ 放し飼いの犬の措置をお願いする。
- ⑤① 草刈条例を制定していただきたい。
- ⑤② 横町通りの道路は非常にせまいので、通勤通学の時間帯にはなるべく両側駐車はご遠慮願いたい。
- また、中宿と馬場通りについても、日曜や祝日の家族連れでの買物の歩行者の安全が守られるよう一度下検討して、なんとか対策を講じていただきたい。

追記

(区長会)

で、その任をしりぞかれた元委員長弓削順氏の後任に、寺田良雄氏(六十九才)が選ばれました。

寺田氏は、ご承知のように永年町の役場に奉職された方で、退職後は、昭和四十六年六月十五日に開設された、利根町農村人材銀行の農業者転職相談員として活躍を続けてこられました。

今後はさらに、町の選挙管理委員会の委員長としてのご活躍が期待されております。(写真は寺田良雄氏)

# 議会だより

## 工事請負契約締結 産業道路第一、第二工区の舗装

昭和五十一年第一回利根町議会臨時会は、一月二十二日午後二時から役場の会議室で開かれ、工事請負契約の締結等三件の議案が審議され、議案はすべて原案どおり可決されました。

議会の概要は次のとおりです。

○議案第一号 工事請負契約締結について  
町道二七号線（産業道路）の舗装工事について、次のとおり請負契約がなされたためそれについて議会の議決が求められました。

たばこは町で  
買いましょう

たばこ消費税は、町の大きな財源となります。たばこは町のたばこ屋さんで買うようご協力ください。

- 一、契約の目的  
町道二七号線（産業道路）舗装工事
- 二、契約の方法  
指名競争入札による契約
- 三、契約の金額  
一千八百三十万円
- 四、契約の相手方  
鹿島郡神栖町賀一六六六 常総開発工業株式会社  
代表取締役 石津光雄
- 五、工期  
契約の日から昭和五十一年三月二十五日まで

- 議案第二号 工事請負契約締結について  
同じく町道二七号線（産業道路）の舗装工事について、次のとおり請負契約がなされたため、それについて議会の議決が求められました。
- ただし、第二工区の一、一九六・五m
- 一、契約の目的  
町道二七号線（産業道路）舗装工事

- ただし、第一工区の一、三六〇m
- 一、契約の目的  
町道二七号線（産業道路）舗装工事
- 二、契約の方法  
指名競争入札による契約
- 三、契約の金額  
一千八百三十万円
- 四、契約の相手方  
千葉県我孫子市根戸一、〇一九 小池起業株式会社  
代表取締役 小池 政
- 五、工期  
契約の日から昭和五十一年三月二十五日まで
- 議案第三号 昭和五十一年度利根町簡易水道事業特別会計補正予算（第三号）について  
この件については、第二回定例会の際、兼松、フジタ、日鉦、常陸興業造成地の人口割による負担額として八億円の費用をいただいで補正したのですが、五十年度だけでは消化できないため、五十一年度と合わせて総額十億円とし、二か年経統事業として行うもので、年度割が次のとおり定められたものです。
- 五十年度 一億一千四百三十三万六千六百円
- 五十一年度八億八千五百六十三万四千円
- 五十年度の資本的支出については次のとおりです。



▲1日24日 利根町上水道建設工事起工式が行われました。詳細については、順次お知らせいたします。

- 工事監理委託料 一千四百万円
- 測量委託料 三百万円
- 地質調査委託料 九十三万六千円
- 配水管布設計委託料 二百万円
- 浄水場埋め立て工事請負費 八百万円
- 観測井さく井工事請負費 三百万円
- さく井工事請負費 3井×5井 五十万円
- 揚水請負費 三十万円
- 浄水場用地購入費 四千五百万円
- 井戸用地購入費 一百万円
- 配水場用地購入費 布川台、早尾台 一千六百二十万円
- 事務費 二百万円

## 利根町文化財候補第一号

この絵馬（写真）は、和紙に岩絵具をもって描かれており、生まれたばかりの嬰兒を貧しさゆえに殺すという、いわゆる間引きの図である。女の心は鬼となって、障子にうつる影には角がはえている。

子どもの守り神である地藏様は、それを御覧になって涙を流していたというが、その部分は風化して今は無い。時代は天明から天保の飢饉の頃、布川徳満寺地蔵堂に奉納されたものと推定されている。



▲撮影と文＝香取達彦さん  
(利根町大字布川3081の11)

だが、作者も奉納者も不明である。

日本民俗学の父、柳田国男は、明治二十年布川に二年ほど移り住んだことがあるが、この絵馬を見た十三歳の柳田少年は、非常な感銘を受け、後に民俗学の研究を志した最後のが、作者も奉納者も不明である。

大の動機となった。この絵馬の印象は生涯忘れることがなかったという。

近時、柳田国男研究が盛んである。柳田民俗学の原点ともいべきこの有名な絵馬をたずねて、徳満寺を訪れる人々が後を絶たないと聞く。

五月曜日 北見 正夫 齊藤善一郎

○善意の預託のお知らせ  
横須賀老人クラブ（海老原喜助会長）からぞうきん一〇五枚の寄贈がありました。文小学校へという指定預託でしたので、早速お届けいたしました。厚くお礼を申し上げます。

善意銀行も開設して八か月浅い日月ですが、多くのかたがたのあたたかい心がたくさん寄せられ、払い出しも行われて感謝されております。

皆さんも払い出しを希望されるときは「善銀」窓口（役場厚生課内）に申し込んでください。運営委員会にはかり払い出します。

払い出しを受けられる団体は、福祉団体、福祉施設です。また、個人では、いろいろの事情（病気や災害）で苦しみや悩んでいるかた、または恵まれないかたがたです。共に手を取り合って住みよい利根町をつくりましょう。

慰問や社会奉仕に  
ご協力を!!

技能、勤労など特別預託をお待ちします。民謡、舞踊等芸能やいろいろの技能をお持ちのかた：子ども会の善導の

第一月曜日 福田 一  
第二月曜日 大竹 智海  
第三月曜日 香取 利夫  
第四月曜日 中村 しづ  
鈴木千勢子

花を時ごとく

いよいよ春の訪れです。庭先やベランダを利用して、花のタネを蒔いたり、球根を植えつけたらあるいは鉢物などを育ててみようという心のときめきを覚えるのもこの季節です。

子に時かせたる花種の名を忘れ 安住 敦  
日曜日の朝など、子どもといっしょに買ってきた花のタネをまくのは楽しいものです。例えば、風に飛ぶような軽い小さな一つぶのタネから、大輪の百日草や色あざやかなケイトウの花が咲くのですから理屈は抜きにしてとにかく花のタネを蒔いてみましょう



# 渡辺博士先生の講演に 笑いと感激の涙



二月十一日、建国記念の日の午後一時から、中央公民館で、特別講演会が開催され、会場は二七〇人の参加者で埋まりました。

はじめに、郷土誌編さん委員長宮本和也さんが、「利根町の歴史を語る 江戸時代の農民」と題して、江戸時代のこの地方の領主や村役人、村のしくみなどと飢饉や年貢のこと、そしてひとたび大雨が降ると利根川が氾濫して、人々が苦しんだ様子を約一時間三十分になりまして、お話しされました。

りと人間関係」と題する約三時間にわたる長い講演が行われました。

先生はまず、「人間は生活が豊かになればなるほど心が貧しくなる」と前置きして、現代人は

一、心にゆとりがなさすぎる。

二、疲れすぎている。

三、いつも物足りなさを感じている。

四、夢を語らなさすぎる。

五、妥協しすぎる。

六、隣人への不信感でいっぱいである。

…と具体的な列をあげて申され、この中に一つでも思いあたるふしがあれば、心の中に強く半鐘を鳴らして、この六つの垣根を乗り越えてゆかねばならないと強調されました。また、先生は、このほかにも数々の例をあげ、時にはユーモアをまじえて参加者を笑いのつばに誘い、時にはゼスチュア豊かな話術により、浅間山荘事件、アフリカ独立のために努力したエンクルマ大統領の青年時代、イスラエルの祖国愛に徹した青年のお

話を原語を用いるなどして話され、参加者が一様に感動のあまり涙を流す場面があり、実にすばらしい講演会でした。講演会が終わって寒風の中を家路に急ぐ人々のほとんどが「ほんとうに来てよかったためになるお話だった」と話しておられました。

中央公民館では、五十一年度もこのような機会を盛沢山

に計画しておりますので、皆さんの積極的な参加をお願いいたします。

【上の写真は、講演中の渡辺博士先生】

## 元統計調査員

### 故香取竹次郎氏に

勲六等瑞宝章

二月六日病氣のため死去された大字布川二八六五番地の香取竹次郎氏(七五才)には後記の功績により、勲六等瑞宝章が贈られました。ここに謹んでご報告申し上げます。

## 香取氏の功績

昭和八年から昭和五十一年二月六日まで四十二年間(あわせて元布川町議会議員、農地委員会委員等公職歴十年)五年ごとに行われる国勢調査九回、農業センサス六回、毎年二月に実施される、茨城県農業基本調査、その他国の指定統計調査各種に従事。

その間、茨城県知事、茨城県統計協会総裁からそれぞれ表彰され、利根町からも自治功労者として二回受賞、本年秋の生存者叙勲対象者でありましたが、これを待たずして逝去されたため、このたびの叙勲となりました。

▲渡辺先生の講演に耳を傾けながら熱心にメモをとる聴講者の皆さん。



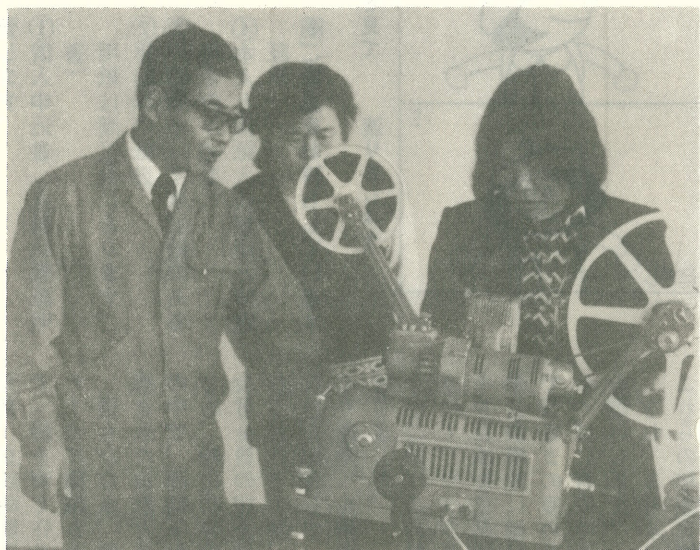
# 乳幼児の健康相談は 四月から隔月に

毎月第二火曜日の、午前九時三十分から正午まで実施しております乳幼児の健康相談を、本年三月から隔月に行うことになりましたので、お知らせいたします。

- (1)計測
  - (2)栄養相談
  - (3)精神運動機能発達及びしつけについて
  - (4)病気の予防と早期発見
- なお、時間と場所(利根町公会堂)は、従来どおりで次回相談日は:  
四月十三日(火)です。  
(保健衛生課)



▲子どもの健康はお母さんのしあわせ



▲この真剣な顔

## 16ミリ映写技術を学ぶ

二月五日・六日の二日間にわたり、中央公民館で16ミリ映写機の技術認定講習会がおこなわれました。

参加者は、はじめてのかたが多く、映写機の構造や上映の仕方等についての講習を受けたのち、フィルムの差しこみかた、つなぎかたなど一人一人実際に練習しました。最後に各自、機械を動か

て上映試験もおこないました

受講されたかたの技術については、審査がおこなわれたのち認定される予定ですが、認定書受領後は、いろいろな集会の際、映写機やフィルムのご利用をお願いいたします  
(中央公民館)

## 国民年金保険料が 改められます

昭和五十一年度から国民年金保険料は、これまでの一、

一〇〇円から一、四〇〇円に改められます。

国民年金は、年をとったり障害者となったり、あるいは母子世帯となったりした時に年金を支払って、加入者の生活の安全を図るためのものです。

そのために、一昨年の春には、大幅に年金額が引上げられ、また、一昨年、昨年と二年連続で物価スライドによる増額が行われ、合わせて、四一・五%も年金額がふえました。

このようなこともあって、四月分から定額保険料は、一か月一、四〇〇円となります。なお、前納(五十一年四月から五十二年三月分まで)を希望するかたは、住民課の年金係までお申込みください。

## 昭和51年度の 国民年金保険料

	定額分	付加分
1か月の保険料	1,400円	400円
1年間の前納額	16,390円	4,680円

# 商工会だより

## ◆記帳個別指導について

三月十五日までに、五十年分所得税の確定申告もすんでほっと一息されたこと、存じます。

しかし、取引は確定申告と関係なく毎日続いていきます。五十一分年分から青色申告の申請をされた方、現在青色申告をしているが、わからないといって頭をか、えることはありません。

一年目は現金出納帳のつけ方  
二年目は経費帳、仕入帳、売掛、買掛帳のつけ方  
三年目は決算書作成  
...というように節税をめざして、記帳の指導を実施していきます。お気軽にご相談ください。記帳指導手数料は、一ヶ月

## 月三〇〇円です。

### ◆源泉税について

給料が月額六万四〇〇〇円以上の方は、源泉税を納付する義務があります。

毎月納めるのがめんどうな方は、納期特例(従業員十人未満)の制度があります。

### ◆労働保険の年度更新

従業員五人以上(建設関係業種の方は一人以上)の事業所は、労働保険に加入しなくてはならない義務があります。五十年四月～五十一年三月

末日までの給料支払総額の明細と印鑑をご持参の上、商工会へ手続きに来所してください。

○利用できる方 (国民金融公庫)

### ◆恩給担保貸付のご案内

○ご本人が次の書類をお持ちになれば、その日のうちに融資します。

- ①借入申込書(支給状態証明書)
- ②用紙は商工会にあります。
- ③恩給等の証書
- ④戸籍謄本(家族加給のある場合のみ必要)
- ⑤本人と保証人の実印と印鑑証明

◆ご意見をお待ちしています

恩給・扶助料・共済年金・遺族年金などの年金受給者  
○資金の使いみちは自由  
○融資額 七十万円(但し恩給等の手取額の三年分以内)  
○利率 年六%  
○保証人 一名以上  
○返済 担保としてお預りした恩給等の支給金を公庫が代って受けとり返済金に充当します。

あと数日で五十一年度です。五月下旬に総会を開催する予定です。当会の事業のあり方等について、お気付きの点ご意見をお待ちしております。

### ◆店舗診断申込受付中

(利根町商工会事務局)

## 全国植樹祭と緑の郷土づくり

第27回全国植樹祭が、きたる5月23日、久慈郡大子町でまたその翌日には高萩市に、天皇、皇后両陛下をお迎えして「緑を育て守ろう大地」をテーマに開催されます。

清らかな水、緑豊かな大地恵まれた自然と心のふれあいの中で、両陛下のお植樹をはじめ、緑化功労者の表彰、参事会全員の記念植樹等が行われるわけですが、利根町でもこれを記念して「緑の郷土づくり運動」を推進することになりました。

そこで、この植樹祭にさきがけて、ツツジ6百本、サツキ6百本を公共用地をはじめ準公共用地に植付けましたので皆さまの愛の手によって、りっぱに育ててくださるようお願いいたします。

なお、3月4日に行われたこれらの植樹に際し、ご協力

くださった多くのかたがたに對し、厚くお礼を申し上げます。

また、取手農業改良普及所職員厚田清さんが、植樹祭記念樹として、百日紅20本、イチヨウ20本を寄付してくださいましたので、あわせてお礼を申し上げます。

## 広報文芸

俳句:

坂本さちを 琴の音を乗せてどこまで春の風

にら 蕨の芽の柔かく萌え母が来る

猫の眼のすぐ恋をする眼にあらず

妻がまた編目違へしことを言ふ

町勢 (昭和51.3.1現在)			
世帯数	2,238	男	4,792
人口	9,717	女	4,925
発行所	利根町役場	編集	小島栄一
町長	利根町長	総務課	小島栄一
編集	利根町長	電話	(029768) 2211, 2212, 2213, 3733
印刷	倉沢印刷株式会社		